

単元名

「わくわくおもちゃフェスティバル」をひらいて、おもちゃをしょうかいしよう

本単元で育成する資質・能力

自己理解・自らへの自信

I:【考え・基礎知識】

紹介するおもちゃについて、分かりやすい説明の仕方を知り、カードにまとめる。

C:【つながり】

手作りおもちゃについて、分かりやすく紹介する工夫を考え、【話し手】と【聞き手】に分かれて説明する。

E:【応用・ひろがり】

「わくわくおもちゃフェスティバル」に1年生を招待し、おもちゃを紹介する。

児童の実態

- ★友達や1年生と楽しく関わることができる一方、友達によさや自分のよさに気付くことは難しい。①
- 1学期の「ことばで絵をつたえよう」の学習で、順序を表す言葉を使って説明することはできたが、大事な事柄を落とさずに聞き手に分かりやすく説明することができた児童は64%である。②
- 1学期の生活科で、1年生に「生き物のひみつ」について教えたが、1年生の様子を見ながら説明するまでには至っていない。③

教材について

- 紹介するおもちゃの決め方についての説明がある。→相手意識をもって、紹介するおもちゃを選ぶことができる。
- 紹介するおもちゃについて説明するためのカードの書き方のモデルがある。→カードの書き方(短い言葉・大事な事柄を落とさない)について学ぶことができる。
- 紹介するおもちゃを分かりやすく伝えるための説明がある。→どのように説明すればよいのかを具体的に学ぶことができる。

育成したい資質・能力と目標 ★**資質・能力** ○**国語科**

【自己理解・自らへの自信】

- ★1年生を「わくわくおもちゃフェスティバル」に招待して、おもちゃを分かりやすく紹介する中で、自分と身近な人々との関わりに関心を持ち、自分のよさや可能性に気付くことができる。【原小学校 資質・能力 ルーブリック(レベル2)】
- おもちゃの作り方や遊び方を説明することに興味をもち、進んで説明しようとする。【国語への関心・意欲・態度】
- 紹介するおもちゃを決め、説明に必要な事柄を考えることができる。【話すこと・聞くこと ア】
- 相手に応じて、おもちゃの作り方や遊び方が分かりやすい説明の順序等を考え、相手の様子を見ながら、丁寧な言葉で説明することができる。【話すこと・聞くこと イ】
- 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くことができる。【話すこと・聞くこと エ】
- 言葉には、事物の内容や働き、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)】

単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「1年生に分かりやすく手作りおもちゃを紹介する」活動を設定した。おもちゃを紹介するための視点「材料・作り方・遊び方」を与えてカードにまとめて説明することを位置付ける。このことで、必要な事柄を順序に気をつけて分かりやすく説明する力を付けることができると考える。また、1年生に分かりやすく伝えるために、どのような工夫をすればよいのかという相手意識・目的意識をもって、主体的に説明の内容と方法を学ぶことができると考える。

指導のポイント

- ① 授業の中で、自分ができるようになったことや分かったこと、友達によさなどの振り返りをさせる。
- ② 教師の説明を提示して、どのような話し方をすれば相手に伝わるのか気付かせる。
- ③ おもちゃの説明の練習をするときに、[話し手]と[聞き手]に分かれて気付いたことを交流する場を取り入れる。

2 単元の評価規準

資質・能力 【自己理解・自らへの自信】	★友達と関わって「わくわくおもちゃフェスティバル」を創り上げることを通して、友達によさや自分のよさに気付いている。【原小学校 資質・能力 ルーブリック(レベル2)】	
国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○ おもちゃの材料・作り方や遊び方を説明することに興味をもち、進んで説明しようとしている。	○ 1年生に紹介するおもちゃを決め、説明に必要な事柄を考えている。(ア) ○ 1年生におもちゃの作り方や遊び方が伝わるように説明の順序等を考え、相手の様子を見ながら丁寧な言葉で説明している。(イ) ○ お互いの説明を聞き合い、1年生が分かる説明になっているか、興味をもって聞いている。(エ)	○ 言葉には、事物の内容や働き、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。  イ(ア)

### 3 単元の計画 (全10時間)

次	時	学 習 内 容	評 価			
			関	話	言	○教科の評価規準 (評価方法) ★資質・能力の評価規準 (評価方法)
単元前		・自分が作りたいおもちゃを作り、作ったおもちゃで遊ぶ。 (生活科)				
1	1	<b>課題設定 (2)</b> ・教師がおもちゃを紹介するモデルを見て、1年生を「わくわくおもちゃフェスティバル」に招待して、手作りおもちゃの「①材料・道具②作り方③遊び方」を分かりやすく説明するという学習課題を確かめる。	○			○手作りおもちゃの①材料・道具②作り方③遊び方を説明する活動に関心を持ち、進んで取り組もうとしている。 (児童観察)
	2	・1年生に紹介したいおもちゃをペアで決める。 <b>情報の収集 (1)</b>		○		○自分が遊んだり作ったりした体験を思い出し、材料や作りやすさを考え、1年生が作ることができるおもちゃを話し合っ て決めている。 (児童観察)
	3	・紹介したいおもちゃの「①材料・道具②作り方③遊び方」について調べる。			○	○紹介したいおもちゃについて、必要な事柄を調べている。 (ワークシート・児童観察)
2	4	<b>整理・分析 (4)</b> ・紹介したいおもちゃの「①材料・道具②作り方③遊び方」を順序よくカードにまとめる。		○		○紹介したいおもちゃについて「順序」や「短い文で書くこと」に気を付けて、カードにまとめている。 (カード)
	5	・教師が作った「まとあての作り方」の説明を聞きながらまとあてを作り、相手に分かりやすいカードに手直しする。			○	○言葉には、相手に分かりやすく伝える働きがあることに気付いている。 (作品・児童観察)
	6	・1年生に分かりやすくおもちゃを紹介するために、ペアでカードに必要な言葉を付け足す。 <b>【本時】</b>			○	○1年生に伝わるように説明の順序を考え、相手の様子を見ながら丁寧な言葉で分かりやすく説明している。 (カード・児童観察) ★友達と交流することで、自分の説明のよい点や改善点に気付いている。 (カード・児童観察)
	7	・2年生で「わくわくおもちゃフェスティバル」を開いて、友だちにおもちゃを紹介する。			○	○2年生で「わくわくおもちゃフェスティバル」を開いて、友だちに分かりやすくおもちゃを紹介している。 (児童観察) ○お互いの説明を聞き合い、1年生に分かりやすい説明になっているか、考えながら聞いている。 (児童観察)
3	8	<b>まとめ・創造・表現 (2)</b> ・「わくわくおもちゃフェスティバル」に1年生を招待して、おもちゃを紹介する。			○	○今まで学習したことを活かして、1年生におもちゃを紹介している。 (児童観察)
	10	<b>ふりかえり (1)</b> ・「わくわくおもちゃフェスティバル」の振り返りをする。			○	○学習したことを活かし、身近な出来事や物事の中から紹介したいことを見付けたり、紹介の仕方を工夫したりしようとしている。 (カード・児童観察) ★友達や1年生と関わることを通して、友達のよさや自分のよさに気付いている。 (カード・児童観察)

#### 4 本時の展開 (本時 6/10)

##### (1) 本時の目標

★友達と交流することで、自分の説明のよい点や改善点に気付くことができる。

【資質・能力 自己理解・自らへの自信】

○1年生に伝わるように説明の順序を考え、相手の様子を見ながら丁寧な言葉で分かりやすく説明することができる。

【国語科 話すこと・聞くこと イ】

##### (2) 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (◆配慮を要する児童への支援)	評 価 規 準 ○教科の指導事項 ★資質・能力 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	カードをパワーアップさせて、せつめい名人になろう。	
考える	2 ダブルペアで、自分たちが紹介するおもちゃの「作り方」について説明し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルペアで説明し合うときには、4つの観点到に気をつけることを全体で確認する。</li> </ul>	
深める	3 改善点をカードに書き加え、説明の練習をする。	<p>【4つの観點】 (1)順序 (2)丁寧な言葉遣い (3)相手の様子 (4)工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルペアの中で【話し手】と【聞き手】に分かれる。</li> <li>【話し手】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの観点到に気を付けて、おもちゃの「作り方」を説明させる。</li> <li>・聞き手から助言してもらったことをカードに書き加えさせる。</li> </ul> </li> <li>【聞き手】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手が4つの観点到を入れて説明しているか確認させる。</li> <li>・説明を聞いて、よかったところや改善点を話し手に助言させる。</li> </ul> </li> <li>・ダブルペアの中で【話し手】と【聞き手】を交代する。</li> </ul>	
まとめる	4 学習のまとめをする。  パワーアップしたカードを基に、ダブルペアで説明し合う。 【まとめの例】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの観点到で改善しているペアを見取り、全体の場で発表させる。</li> </ul>	<p>○1年生に伝わるように説明の順序を考え、相手の様子を見ながら丁寧な言葉で分かりやすく説明している。 (カード・児童観察) ★友達と交流したことで、自分の説明のよかった点や改善点に気付いている。 (振り返りカード・児童観察)</p>
	<p>①はじめに、かめの絵を書きます。 <b>縦いばれに大きく</b></p> <p>②つぎに、かめの絵をはさみできりぬきます。 <b>○きりぬくまでまつ</b></p> <p>③それから、絵のうらがわに、かたかなの「ハ」の字になるように、ストローをはります。 <b>○「ハ」の字を見せる。</b></p> <p>④さいごに、ストローをたこ糸に通します。 <b>○通し方を見せながら…</b></p>		
	5 本時の学習を振り返り、次時につなげる。  【振り返りの例】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で自信がしたことや「わくわくおもちゃフェスティバル」に向けて、更に練習したいことを振り返りカードに書かせる。</li> </ul>	
	<p>私は、1年生に分かりやすい言葉をカードに付け加えて説明することができました。でも、まだ相手の顔を見ながら説明することが難しいので「わくわくおもちゃフェスティバル」では、1年生の顔を見ながら説明できるように練習したいです。</p>		

## 5 板書計画

「わくわくおもちゃフェスティバル」をひらいて  
「おもちゃ教室」をひらこう  
おもちゃをしようかいしよう  
一年生に

めあて  
カードをパワーアップさせて、せつめい名人になろう。

○せつめい名人のポイント

①じゅんじよをあらわすことは  
はじめに つぎに それから さいごに  
ます です

②ていねいなことは  
ます です

③あい手のようす  
④くふう

作り方  
発表する児童  
のカードを掲  
示する。

まとめの例

**わくわくおもちゃフェスティバル**

①はじめに、画用紙にかめの絵を書きます。  
○かまへまてまて

②つぎに、かめの絵をはさみできりぬきます。  
○「ハ」の字を真ん中の

③それから、絵のうらがわに、かたかなの「ハ」の字になるように  
はります。

○通て方を真ん中をかり…

④さいごに、ストローにたこ糸を通します。